



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2013年1月号（498号）》

目 次

報 告

・ 常任司教委員会	1
・ 典礼委員会	3
・ 難民移住移動者委員会	4
・ カリタスジャパン	5
・ 正義と平和協議会	6
・ 外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会	8
・ 中央協議会事務局（総務）	9

常任司教委員会

■11月定例常任司教委員会

日 時 2012年11月8日（木）10：00～15：30

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 6人

事務局 8人

報 告

1. 第13回世界代表司教会議（シノドス）について
10月7日－28日まで「キリスト教信仰を伝えるための新しい福音宣教」をテーマに開催された第13回世界代表司教会議（シノドス）の報告が代表参加者の宮原良治司教から行われた。毎回シノドス後に作成する報告書を今回も発行することを申し合わせた。
2. 高山右近列福祈願司教団公式巡礼について
10月22日－11月1日に開催された右近列福祈願司教団公式巡礼（再宣教150年感謝と信仰年に寄せて）を引率した大塚喜直司教から報告が行われた。今回の巡礼で成果を上げることができたので、継続して申請準備を進めていく。
3. 教皇庁諸評議会委員人事について
10月27日の教皇庁広報部発表で、岡田武夫大司教が諸宗教対話評議会委員に、菊地 功司教が開発援助促進評議会委員に任命された。
4. FABC 第10回総会延期について
アジアの司教協議会の中から2名が枢機卿に親任され、その親任式が11月24日となった事を受け、11月19日－25日に予定していたFABC第10回総会の開催が12月10日－16日に延期となった。
5. シュラーヴェン司教記念式典参加について
10月14日にオランダで開催された、戦時中日本兵に虐殺されたシュラーヴェン司教没後75周年記念式典に司教協議会会長の代理として参加した東京教区・深水正勝師からの報告書を紹介した。
6. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について
東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地 功司教から報告された。10月31日現在のカリタスジャパンへの募金は、734百万円、国際カリタスからの募金が895百万円で計1629百万円、援助金支出は、975百万円となった。
7. 中央協議会の口座に入金された義援金について
10月31日現在、中央協議会の口座に入金された東日本大震災関連の義援金の報告が行われた。9月末時点から入金も出金も動きがなく、10月常任司教委員会での報告同様、義援金総額は73,350,693円、支出合計は、25,757,282円、残高は47,593,411円となった。

審 議

1. 「新しい福音宣教のためのミサ」の式文について
典礼委員会から提出された「信仰年」にあたっての「新しい福音宣教のため」のミサの式文と聖書朗読箇所については、本常任司教委員会で指摘された集会祈願を修正し、各教区事務局へ送付する。また、中央協議会ウェブサイトにも掲載する。
2. 東日本大震災から2年の2013年3月11日に向けての対応について
東日本大震災から2年を迎える2013年3月11日に向けて、日本司教協議会として以下の準備を行う。
 - ①司教協議会会長談話の作成
 - ②2013年2月20日(水)18時から、駐日教皇大使を招き、日本司教団主催で追悼と復興支援のためのミサを麹町教会(東京教区)を会場として開催する。
 - ③海外からの献金者に報告と礼状を送付する。
3. 2013年度日本カトリック司教協議会年間行事日程案作成
2013年度の司教総会の日程案を以下のとおりとし、2012年度臨時司教総会において確定する。また、常任司教委員会の日程を確定した。

2013年度定例司教総会	2013年6月10日(月)－14日(金)
2013年度臨時司教総会	2014年2月17日(月)－21日(金)
2013年度特別臨時司教総会予備日	2013年10月4日(金)

4. facultas と potestas の用語変更に伴う諸書式改訂について
本常任司教委員会の諸意見にもとづき修正した facultas（権限） と potestas（権能）の用語変更に伴う教会行政法制委員会提出の諸文書（書式）の改訂を承認した。なお、再版等で必要な対応は事務局に一任する。
5. 日本カトリック会館 2013 年度修繕計画について
「日本カトリック会館 長期修繕審議会」から提出された、2013 年度日本カトリック会館修繕計画について検討し、来年度施行を計画している空調工事に関しては、多方面からの調査も加えて、再度常任司教委員会に諮り決定することとなった。
6. 2013 年度予算編成要項について
財務委員会から提出された「2013 年度予算編成要項」を承認した。ただし「経年劣化に伴うカトリック会館の大規模修繕の工事費用の計上」については、「日本カトリック会館 2013 年長期修繕計画」の承認を得るまでは保留事項とする。
7. 『第二バチカン公会議公文書改訂公式訳』の価格設定について
『第二バチカン公会議公文書改訂公式訳』の価格設定にともない、本体価格を安価におさえるため、翻訳・校閲謝礼費用を第 2 バチカン公会議文書公式訳改訂特別委員会の 2013 年度予算に計上することとした。

典礼委員会

■定例会議

日 時 2012 年 11 月 12 日（月）10:00-14:30
場 所 日本カトリック会館 会議室 3
出席者 8 人
欠席者 3 人

報 告

信仰年について

教皇庁から「新しい福音宣教のためのミサ」(Pro nova evangelizatione) の式文と聖書朗読箇所が発表された。当委員会が準備した翻訳は、2012 年 11 月 8 日の常任司教委員会にて承認された。信仰年期間中に種々の機会に用いることができる。

教皇庁新福音化推進評議会によって準備された公式聖歌「クレド・ドミネ（主よ、わたしは信じます）」の日本語の歌詞は、日本カトリック司教協議会の 2012 年度特別臨時総会によって承認された。1-5 節の歌詞はそれぞれ、待降節、降誕節、四旬節、復活節、聖霊降臨に関連した内容になっている。それぞれ、カトリック中央協議会のウェブサイト内「信仰年」特設ページに掲載されている。

審 議

1. 2013 年度全国典礼担当者会議
2013 年 9 月 9 日（月）-11 日（水）に開催する掲記会議のテーマについて検討を行った。『典礼憲章』発布 50 年にあたる来年は、今年度のテーマを引き継ぎ、第二バチカン公会議後に日本の教会で行われてきた国語化作業、および教皇庁から発行された指針等の整理を焦点に準備を行う。
2. 『典礼憲章』発布 50 周年記念行事
2013 年に『典礼憲章』発布 50 周年を迎えるため、当委員会主催で典礼とは何かについて、分かりやすい説明と、国語儀式書の作業について報告を行う内容を基本に、講演会（シンポジウム）を開催する方向で準備を進める。

3. 典礼用「詩編」改訂計画

2012年度臨時司教総会に提出する改訂計画の確認を行った。

4. 典礼書の重版

在庫の少ない書籍（『結婚式』、『主日の朗読聖書C年』、『朗読聖書－聖なる過越の三日間』）について対応を検討した。検討結果を出版部に伝える。

5. ミサ通常式文と信条の新しい旋律

2102年臨時司教総会に提出するミサ通常式文と信条の新しい旋律の確認を行った。

次回定例会議 2013年1月21日(月)13:30-17:30 カトリック横浜司教館（神奈川・横浜市）

難民移住移動者委員会

■2012年度第6回事務局会議

日 時 2012年10月4日(木) 13:00-15:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 3人

欠席者 2人

報 告

1. ブラジル人司牧者・協力者の集いについて

9月11日(火)－13日(木)、マレラホールにて「ブラジル人司牧者・協力者の集い」が開催された。

ブラジル人司牧にかかわっている日本在住の司祭・修道者、信徒のリーダー26人が集まり、司牧に関する問題および2013年にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで行われるワールドユースデー(WYD)への対応について話し合った。

一日目は、各教区の現状を報告した後、ブラジル人司牧のガイドライン作成について協議し、横浜教区の外国人司牧のガイドラインをベースに、作成作業を進めることを確認した。

二日目は、WYDについての準備状況を確認した。ブラジル人共同体からも参加者を募り、大会後各教区で報告会を行い青年の意識を高めるという方針が承認され、そのための宣伝ツールをポルトガル語で作成することになった。午後には、非行に走った青年が信仰によって正しい道に戻ることができたという体験報告を聞き、司牧者としての意見を交わした。

最終日は、各教区で問題になっている新興宗教の問題について現状を報告した。最後に2013年度のコーディネーターグループを決め、派遣ミサをもって閉会した。

2. 「全国研修会 in 大分」の進捗状況について

9月25日(火)に参加申込を締め切り、本日現在60人の参加が見込まれる。10月16日(火)は会場設営、事前準備のために開場の一時間前に現地入りする。

3. 2013年度全国研修会候補地について

10月4日(木)、東京教会管区内の教区担当者による「2013年度全国研修会準備会」において、来年度の全国研修会開催候補地を検討した。この件については、11月19日(月)－20日(火)の「全国担当者会議」で再度検討が行われる。

審 議

1. 「全国担当者会議」の詳細について

11月19日(月)－20日(火)、大阪で開催される「全国担当者会議」の議題およびプログラムなどの詳細確認を行った。

2. FAX NEWS 瓦版クリスマス号の記事検討について
寄稿者の検討を行い、寄稿を依頼する。

カリタスジャパン

■第4回カリタスジャパン委員会会議

日 時 2012年11月7日(水) 11:00-16:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 12人

報 告

1. 啓発部会
会報12月号参照
2. 援助部会
(1)カリタスアジアBaobabワークショップ(9月25日-29日、タイ・バンコク)
(2)カトリック正義と平和全国集会2012長崎大会(10月6日-8日)
(3)東日本大震災対応
福島デスク立ち上げに向け、準備が進められている。
(4)2012年度海外援助実績
10月の援助部会までで約22百万円(四旬節8百万円、海外援助14百万円)の援助金を支出。
3. 2012年度定例全国教区担当者会議(11月6日-7日)
1日目 委員会・部会・事務局報告、講演会「福島の声聞く」、東日本大震災活動報告と意見交換
2日目 四旬節キャンペーン大綱検討、小冊子についての意見交換、次回開催検討
4. 事務局
8・9月度の収支・募金報告

審 議

1. 2013年度予算案承認
2. 2013年度四旬節キャンペーン大綱承認
新たに「祈りのカード」を作成、配布する。
3. 東日本大震災対応について
(1)ベースや教会などの施設を、必要に応じて「震災遺族の分かち合いの会」などの外部団体に利用してもらう提案を承認。
(2)中長期活動計画策定会議(オールジャパン主催)開催を呼びかける。
4. 東日本大震災二周年活動報告書編集について、内容、発行部数などを検討。
5. 2013年四旬節小冊子編集およびキャンペーンについて検討。
6. 今年のクリスマス募金の取り組みについて
裏面がぬり絵の振込用紙付きちらしを作成、配布する。
7. 援助審査 5件(国内一般4、海外一般1)を審査し、以下の3件を承認、1件を却下、1件を保留とした。
(1)薬物乱用防止協会「事務所自動火災報知設備整備」1,000,000円
(2)岐阜ダルク「女性ハウス設立支援」1,000,000円
(3)スリランカ「平和構築のための社会教育プログラム」17,266 USドル

8. 国際カリタス緊急支援要請(Emergency Appeal/EA) 以下1件の支援を決定。
セネガル「洪水災害緊急支援 (EA36/12)」5,000 ユーロ

次回日程 2013年1月11日(金) 11:00-16:00

正義と平和協議会

■定例会議

日時 2012年11月9日(金) 10:30-17:00
場所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 18人
招聘者 2人

報告

1. 原発廃止のグッズ作成関係
2. 下記声明文を出した。
 - ・オスプレイの沖縄普天間基地配備に抗議する、野田佳彦内閣総理大臣、森本 敏防衛大臣、武田博史 沖縄防衛局長あて抗議声明(10月2日)
 - ・9月27日に行われた2人の死刑執行に関する、滝 実法務大臣あて抗議声明(正義と平和協議会死刑廃止部会、9月27日)
3. モンゴルの原発問題についての報告

審議

1. 全国集会2012長崎大会の振り返り
 - ・参加者 約450人
 - ・マイケル・シーゲル師(神言修道会)の基調講演をYouTube(ユーチューブ)にアップロードしたところ約300件のアクセスがあった。
 - ・二日目の社会司教委員会シンポジウムは浦上教会の信徒を含め、約800人が参加した。
 - ・長崎市内の信徒の協力により運営できたが、教会の社会的な活動や正義と平和協議会への理解はまだ少なく今後の課題である。全国集会のもち方、目的についてはまだ議論が必要だろう。
 - ・長崎開催の経験をふまえた今後の大会開催についての意見
 - ・今後の大会をどうしていくかという問題はまだ残っている。
 - ・中長期の開催計画をつくっておく必要がある。
 - ・年齢層が上がっているという現状を考えていかなければならない。
2. 次回全国集会開催地について
長崎大会の反省をふまえ、今後の全国集会のもち方について意見交換を行った。具体的な開催地は未定。
3. 全国会議基調講演
ファシズム時代のカトリック弾圧と奄美についてのシンポジウムを行う。
4. 来年度スタディツアー募集について
出席者にスタディツアー企画募集要綱を配布し、企画提案を呼びかけた。
5. 来年度予算について

タークソン枢機卿懇談会（15：00－17：00）

日本とバチカン国交樹立 70 周年を記念して、ローマ教皇庁正義と平和評議会議長ピーター・コドヴォ・アピア・タークソン枢機卿が上智学院と駐日ローマ教皇庁大使館の招きで来日した。タークソン枢機卿は日本の正義と平和協議会関係者との面会を希望したので、今回委員と懇談した。

■20 条の部会

日 時 2012 年 11 月 6 日（火）15：00－17：00

場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）

出席者 6 人

報 告

1. 正義と平和全国集会 2012 長崎大会 第一分科会「奄美でカトリック排撃運動はなぜ起こったのか？」の報告
参加者 43 人。
2. 20 条の部会主催シンポジウム「大丈夫？あなたの信教の自由」の報告
参加者 30 人。

審 議

1. 来年度の活動計画を検討した。各地でシンポジウムを開催予定。
2. ブックレットの発行を検討した。

■NCC 平和・核問題委員会

日 時 2012 年 11 月 1 日（木）13：00－15：00

場 所 日本キリスト教会館 会議室（東京・新宿区）

出席者 カトリックから 1 人

報 告

1. 「内部被曝を考える 講演会とシンポジウム」(6 月 30 日－7 月 1 日 日比谷コンベンションホール)の報告。
2. チェルノブイリ・プロジェクトの閉鎖に伴う業務引き継ぎについて

審 議

今期委員会の活動方針について検討した。

■NCC 靖国神社問題委員会

日 時 2012 年 11 月 5 日（月）18：00－19：30

場 所 日本キリスト教会館 バプテスト同盟会議室（東京・新宿区）

出席者 カトリックから 1 人

報 告

1. 各教派、団体からの報告
2. 政教分離訴訟関係の報告
3. 2・11 東京集会実行委員会の報告

審 議

1. 要請文の検討
2. 『天皇の代替わり問題とキリスト教 Q&A』頒布状況の報告と今後の販路拡大について

3. 2013年11月のWCC(世界教会協議会)総会(韓国・釜山)参加について

■平和を実現するキリスト者ネット

日時 2012年11月8日(木) 14:00-16:20
場所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)
出席者 カトリックから2人

報告

1. 会計、賛同状況
2. ニュースレター進捗状況
3. 集会・行動の報告

第106回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者国会要請行動(平和をつくりだす宗教者ネットより)
2012年10月18日(木) 衆議院第2議員会館第6会議室
署名提出370筆 総数 91,495筆
首相官邸前祈念行動

審議

1. 第107回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者の要請行動(11月22日)要請メンバーについて
2. キャロリング・フォー・ピース2012について
日時 12月7日(金) 18:30
場所 キリスト教視聴覚センター(AVACO)(東京・新宿区)
19:30から西早稲田のAVACOより高田馬場方面にキャロリング
3. <普天間基地ゲート前でゴスペルを歌う会>につながって、首相官邸前でゴスペルを歌う会を主催
日時 11月26日(月)、12月3日(月)、12月10日(月)、12月17日(月) 18:00-19:00
場所 首相官邸前向かいの路上

外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協)

■第16回国際シンポジウム

日時 2012年10月29日(月)-31日(水)
会場 “アカデミー・ハウス”(韓国・ソウル)
出席者 カトリックより2人

主催 韓国 韓国基督教会協議会正義と平和委員会
韓国カトリック司教会議正義と平和委員会
日本 外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会
日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会

名称 移住民(外国人住民)政策と人権に対する韓日国際シンポジウム

主題 多民族・多文化社会を迎えた韓・日・在日教会の宣教課題

目的 ①在日韓国・朝鮮人の人権獲得にかかわって1970年代から始められた日・韓・在日教会の共同の取り組みを、21世紀東アジアにおいて今後どのように発展させるかを協議する。
②新自由主義による格差社会、監視社会の進行、金融危機に端を発する「雇用災害」による移住民の排除と周縁化に対する日・韓・在日教会の「宣教課題」を定立する。

- ③日本の歴史責任の未清算、高まる排外主義の中で、日本・韓国・在日のキリスト者が誠実に出会い、真摯に語り合うことによって、東アジアにおける平和と共生をめざす。

発題 松浦悟郎司教（日本カトリック難民移住移動者委員会）が「増加する移住民と教会の課題」の提起をした。

協議

- ① 在日韓国・朝鮮人の人権獲得にかかわって 1970 年代から始められた日・韓・在日教会の共同の取り組みを、21 世紀東アジアにおいて今後どのように発展させるのか。
- ② 新自由主義による格差社会、監視社会の進行、金融危機に端を発する「雇用災害」による移住民の排除と周縁化に対する日・韓・在日教会の「宣教課題」について
- ③ 日本の歴史責任の未清算、高まる排外主義の中で、日本・韓国・在日のキリスト者が誠実に出会い、語り合うことによって、東アジアにおける平和と共生をめざす。

10 月 31 日(水)には、記者会見（基督教会館）を行った。

その後、ソウル南の安山地域の移住者の現場を訪問し、韓国の移住者の状況を目の当たりにし、また国際村興しの実態を見学した。

■事務局会議

日時 2012 年 11 月 15 日（木）17：00－19：30
場所 日本キリスト教会館（東京・新宿区）
出席者 カトリックから1人

1. 国際シンポジウム（10 月 29 日－31 日）の評価と反省
参加者が多様になってきている。
2014 年度日本での開催のために、2013 年度は内容の焦点をつめる必要がある。
2. 2013 年全国協議会・全国集会について
①全国協議会のプログラム、会場、準備日程、役割分担について検討。
②全国集会への賛同と参加呼びかけを各教派・団体で行うことを確認。
3. 『全国集会資料集』について
内容と名刺広告、原稿依頼について確認した。
4. 8 月に行った第 4 回「青年の旅」の報告会を、この後 19：30 より早稲田奉仕園 YOU-I ホール（東京・新宿区）で行った。

中央協議会事務局

■総務

1 月会議予定

10 日（木）	第 137 回学校教育委員会	幼きイエス会ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）
10 日（木）	常任司教委員会	日本カトリック会館
11 日（金）	カリタスジャパン委員会	〃
11 日（金）	第 3 回列聖列福特別委員会	〃
15 日（火）	カリタスジャパン啓発部会	〃

21 日（月） 典礼委員会定例会議 カトリック横浜司教館
23 日（水） 『司牧の手引き』編纂特別委員会 日本カトリック神学院(福岡キャンパス)

カトリック中央協議会「会報」 2013 年 1 月号（通巻 498 号）

発行日 2012 年 12 月 20 日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457